

「前期基本計画素案（健康・福祉、都市基盤・産業分野）」の修正について

1 経緯

平成25年1月18日に開催された第8回総合計画審議会においてご指摘をいただきました、前期基本計画素案の『健康・福祉分野』及び『都市基盤・産業分野』の内容の一部について、主管課の見解を確認したうえで再度検討を行い、改めて提案するものです。

2 審議会での指摘内容及び対応

(1) 『健康・福祉分野』

① 施策13「高齢者の生活支援」（資料2 P3）

指摘1：既に公表されている基本構想素案では、市の役割の6項目目に「安心して在宅で療養生活が送れるよう、在宅療養支援窓口の設置や緩和ケア、終末期医療等の新しい医療ニーズにも応えられる体制づくりを図る。」と記されている。しかし、前期基本計画では、新しい医療ニーズへの対応が記載されていない。【(4) 主要な事務事業】として具体的に掲載することが難しいことは理解するが、【(3) 施策の方向性】には何らかの形で盛り込めないか。

対応1：ご指摘の内容を踏まえまして、【(3) 施策の方向性】の2項目目を「在宅療養支援窓口の設置や後方支援病床の確保をはじめ、医療が必要な高齢者の在宅生活を支えるために、様々な社会資源との連携による、地域包括ケアシステムを構築するとともに、地域住民主体の自助と共助を基本とした、地域の支え合い体制の構築を目指します。」と修正したいと考えます。

② 施策14「介護保険制度の円滑な運営」（資料2 P5）

指摘1：基本構想素案では、市の役割として、4項目目に「介護施設等を計画的に整備し、介護を必要とする高齢者へのサービスの量的、質的な充実を図る。」と記載されているが、前期基本計画では、介護施設関連のサービスの充実について掲載されていない。【(4) 主要な事務事業】として具体的に掲載することは困難だとしても、【(3) 施策の方向性】には織り込まれても良いのではないか。

対応1：ご指摘の内容を踏まえまして、【(3) 施策の方向性】に「様々な居宅サービスを利用して在宅生活の困難な高齢者のために、施設サービス等の計画的な整備を図ります。」との項目を新たに追加したいと考えます。

(2) 『都市基盤・産業分野』

① 施策7-2 「地域商業の振興」(資料2 P7)

指摘1：商工会議所では、循環型経済を支援するために、市内の統一カードを発行してそれにポイントを付ける事業を計画している。ポイントの対象としては、環境面でのマイバック利用、子育てや高齢者等の分野でのボランティア活動、ちゅうバス利用や図書館などの市施設の利用を想定しており、ポイントを使って市内商店街での買い物に繋げていきたい。これまで、市と連携して地域通貨に関連した電子カードの活用を3年間検討してきた実績があり、今後2年間さらに創意工夫を重ね、平成27年度から地域通貨を発行できる体制を築きたいと考えているので、前期基本計画でもこの施策の中に追加してほしい。具体的には、項目は「循環型の経済振興事業」とし、内容は「住民ニーズに対応した地域通貨を活用し、持続可能な商業振興に取り組み、地域の活性化をする。」といった趣旨での掲載をお願いしたい。

対応1：ご指摘の内容を踏まえまして、【(3) 施策の方向性】に「地域通貨制度など持続可能な商業振興策について商工会議所との連携を図ります。」との項目を新たに追加したいと考えます。

② 施策7-4 「観光資源の活用・創出による地域活性化」(資料2 P9)

指摘1：この施策の内容については観光だけに特化している印象を受けるので、シティプロモーションとも関連するが、美術館や博物館など市内の様々な資源を活用して市外から人を呼び込むことを【(3) 施策の方向性】に加えられないか。

対応1：ご指摘の内容を踏まえまして、【(3) 施策の方向性】に「名所・旧跡、けやき並木や多摩川などの自然環境、郷土の森博物館や美術館などの文化施設等の様々な観光資源を活用し、集客を図ります。」との項目を新たに追加したいと考えます。

指摘2：府中市では観光大使の任命を行っていないが、ある程度著名な観光大使を任命することによって、市内の観光資源について市民も見直し、市外の方にも知っていただく一助になると思うので、【(3) 施策の方向性】に盛り込めないか。

対応2：ご指摘の内容を踏まえまして、【(3) 施策の方向性】に「本市の特産品の活用や観光大使などの媒介役を通じたPRなどにより本市の魅力を伝え、誘客に努めます。」との項目を新たに追加したいと考えます。